

特設HPオープン (<http://ato4nen.com/g7-action/>) こちらをご確認ください👉

G7直前全国アクション

6月10日、全国で声をあげて未来を守ろう
～脱炭素と脱原発で次の世代に明るい安全な未来を残す～

菅首相は2030年に向けた温室効果ガス排出削減目標を2013年比46%にすると発表しました。これ自体、欧州の先進国の目標と比べ低いものですが、並行して行われているエネルギー基本計画の議論では、電源構成を原発20%、再生エネルギーを30%台に止めるなど、原発の新增設やリプレースに踏み込むべきという意見が多く出され、化石燃料さえも維持推進する方向です。

このままでは、私たち市民の、また将来世代の安全な未来は守れません。洪水、森林火災など気象災害の増加や生物多様性の崩壊など気候危機を回避できないばかりか、脱炭素社会に向けた世界の大きなパラダイム転換から取り残されてしまいます。

6月11日から開催されるG7サミットでは、コロナ対策に加え気候危機が重要なテーマです。また、2030年のエネルギー・ミックスなどを規定するエネルギー基本計画(素案)が近々提出されます。計画案には原発の新增設やリプレースが含まれる可能性もあります。

市民社会のネットワーク「あと4年、未来を守れるのは今」が要望しているのは、(1) 民主的で透明な見直しのプロセス、(2) 温室効果ガス排出削減目標、2010年比50%以上、(3) 2030年石炭火力と原発ゼロ、再エネ50%以上、(4) 原発の新增設、新型炉開発の中止、(5) 二酸化炭素の回収・貯留など不確実な技術に頼らない、です。G7会合前日の6月10日に、生活クラブが再エネ60%などを要求している署名と合計すると20万筆を超える署名の共同提出と、全国一斉のスタンディング・アクション(経産省や自治体庁舎の前で、市民がプラカードなどを手に持って立って訴えること)を実行します。

今を逃すと、次のエネルギー基本計画の見直しまで3年待たなければなりません。もう待てません、賛同団体の皆さまの積極的な参加をお願いいたします。

<署名最終提出・記者会見>

日時:6月10日(木) 14:00~16:00

場所:衆議院議員会館+オンライン(詳細は、改めてご案内いたします。)

<全国各地スタンディング・アクション>

日時:6月10日(木) 17:00~ 18:00(コロナの状況により変更の可能性有)

場所:国会前、各自治体庁舎前

(詳細は、「あと4年」キャンペーンウェブサイトに掲載予定)

申請フォームはこちら

URL : <https://forms.gle/4761k3GHVzTkhMpk7>

署名の最終締め切りは5月31日です。最後のもう一押しをお願いします。

エネルギー基本計画(素案)の提示後に、パブリック・コメントの呼びかけ公示があります。こちらにも、1つでも多くの意見を出していきましょう。